

# 会報

第301号

岩手県小学校長会  
代表 石川正明  
事務局 TEL019(623)8955  
盛岡市紺屋町2の9  
盛岡市勤労福祉会館2F  
印刷 富士屋印刷所



## この一年を振り返って

会長 石川正明

平成二十九年度もあつたかとなりまして。各学校では、今年度学校経営の成果と課題を振り返り、来年度へ向けてより良い計画作りに着手していると思います。

ここで、岩手県小学校長会の一年を振り返ってみます。四月二十一日に第五十五回定期総会を開催しました。六十六名の新会員を迎え、三百二十六名会員総意のもと、「明日を拓く岩手の絆」を確認しました。そして、会員の叡智と情熱を結集し、強いリーダーシップをもって家庭や地域社会の信頼と期待に応えていくことを確認しました。

一学期後半、活動重点の一つである復興支援の一環とし

廃炉まで、今後三十年〜四十年かかるといふ話を伺い、完全復興まで、まだまだ長い道のりであることを理解しました。被災三県情報交流会では、岩手県被災地の願いが実現するよう全連小役員に強く要望してきたところであります。

七月に、東北連小研究協議会山形大会が開催されました。東日本大震災からの復興の視点を引き継ぎながら、「夢と希望をもち」ともに未来を拓く、いのち輝く子どもを育てる学校経営」をテーマに掲げ、困難を主体的に乗り越え、社会を生き抜く力を育てる学校経営の在り方について研究を深めることができました。岩手県を代表し、第一分科会で二戸地区、第七分科会で盛岡地区に発表していただきました。校長の果たすべき役割について確かめ合うことができました。

十月には全連小研究協議会佐賀大会に県団三十三名が参加しました。「志を胸に、高きに和して、未来をつくる子どもを育てる」の研究主題のもと、五領域十三分科会に参加し、たくさんの学びがあった佐賀大会でありました。

県教委から「震災を語り継ぐ期間」が示されてから三年目となります。今後とも、本会発刊の震災紙芝居と資料集を毎年確実に活用できるように計画していただきたいと思います。

不祥事防止に関わり、一学期後半、続けて三件の不祥事が発生したことを重く受け止め、小学校長会として緊急会議メッセージを出させていただきました。私たちは教職員と共に県民の信頼や負託に応えられるよう、より一層気持ちを引き締めていかなければなりません。

最後に、各学校では、来年度から移行期間となる新学習指導要領を踏まえ、教育課程編成のため検討を重ねていることと思います。「社会に開かれた教育課程」等のキーワードをはじめ、多くの教育課題に学校は対応していかなければなりません。未来を担う子どもたちの健やかな成長のために、カリキュラムマネジメントの中心となるのが校長の大きな責任であることを自覚し、今後も共に前進して参りましょう。

## 祝 文部科学大臣表彰

岩手県小学校長会長

石川 正明 氏

文部科学省による平成二十九年度教育者表彰式が、昨年の十二月五日、文部科学省において挙行されました。本県小学校からは、岩手県小学校長会・石川正明会長(盛岡市立仙北小学校長)が、「長年にわたり、学校を主体とした教育施策の推進や教職員の指導力向上などに取り組み、本県の教育振興に貢献している」として表彰を受けられました。

当日は、午後零時二十分から表彰式が挙行され、宮川文部科学大臣政務官からの挨拶のあと、表彰状の授与及び記念品として銀杯の贈呈がありました。

その後、皇居に参内し、「春秋の間」において、天皇皇后両陛下に拝謁してお言葉を賜りました。

石川会長は、今回の受賞について「この表彰は、岩手県の教育関係者全体に対する表彰であり、代表して受賞させていただきました。」と、話されています。

会員一同、心からの祝意を表したいと思います。誠に改めてとうございます。

# 平成二十九年 各部の活動報告

## 総務部

総務部は、本会全般に関わる企画・立案や庶務に関する活動及び東日本大震災対策活動を行ってきた。

主な活動内容は次のとおりである。

### 一 総務部担当活動

#### ① 理事会・評議員会

#### ○ 第一回理事会・評議員会

(四月二十一日)

・本年度の組織構成等の確認(全連小・東北連小役員、理事の専門部所属確認、各部及び専門委員会の構成と活動計画の確認)

#### ○ 第二回理事会(六月十二日)

・第五十五回総会の反省  
・全連小・東北連小理事会報告、東北連小山形大会、全連小佐賀大会について

#### ○ 第三回理事会(九月十五日)

・全連小会長会、東北連小理事会報告、東北連小山形大会反省、全連小佐賀大会について

・東北連小全国大会運営準備金(仮称)について

#### ○ 第四回理事会・第二回評議員会 (十一月十三日)

・全連小理事会報告、全連小佐賀大会の反省

・第五十六回岩手県小中学校長研究大会宮古大会について

・平成二十九年岩手県教育委員会への要望事項

#### ○ 第五回理事会・第三回評議員会 (二月二十一日)

・全連小理事会、東北連小理事会報告

・平成二十九年岩手県小学校会収入・支出決算(中間)報告

・平成三十年度行事予定

#### ② 総務部担当理事・地区事務局長合同会議

#### ○ 第一回総務部担当理事・地区事務局長合同会議

(四月二十一日)  
・本年度の組織構成  
・全連小大会・東北連小大会

#### ○ 第二回総務部担当理事・地区事務局長合同会議

(一月二十六日)  
・本会会務、中間決算報告  
・平成三十年度行事予定  
・平成三十年度総会開催関係

依頼事項の伝達

・各地区校長会の活動状況について交流

#### ③ 常任理事会

今年度の活動方針と計画に基づき、年間十一回開催し、総務、行財政、研修、広報編集、生徒指導の各部の活動状況を共有してきた。

#### 二 東日本大震災対策活動

#### ① 東日本大震災対策特別委員会の開催

○ 第一回(六月十二日)  
・被災地区小学校の現状と課題について情報共有

・支援地区小学校の現状と課題について情報共有

・被災地区校長会訪問の計画  
・沿岸被災地区文化活動支援事業について

#### ○ 第二回(九月十五日)

・被災地区小学校の校舎・校庭等の現状把握と情報共有

・全連小による被災地(福島第一原子力発電所他)視察

並びに被災三県懇談会報告  
・沿岸被災地区文化活動支援事業申込み状況について

#### ○ 第三回(十一月十三日)

・沿岸被災地区文化活動支援事業報告と今後について  
・今後の横軸姉妹校連携並びに被災地支援の在り方について意見交換

#### ○ 第四回(二月二十一日)

・横軸姉妹校連携による支援活動の成果と課題について  
・来年度の全連小による被災地(岩手県)視察について

・来年度の特別委員会の持ち方等について意見交換

#### ② 東日本大震災対策本部の活動

○ 被災地区小学校の状況と横軸姉妹校連携による支援活動の状況について情報共有

○ 被災地区訪問

○ 全連小役員による本県被災地訪問と被災三県懇談会の開催  
(総務部長 外山 敏)

## 行財政部

教育諸条件の整備充実と教育の処遇改善、質的向上を目指す調査・要望活動を行った。

#### 一 行財政関係調査

##### ① 県調査

「校長給与」「教職員の病休者と補充状況」「要望事項」「教材予算」について実施

##### ② 全連小調査

「標準法」「施設設備教材」「教員養成」等について実施

二 要望(提言)活動  
(県中学校長会と共同)

#### ① 要望書(十一月二十七日)

「本県義務教育の充実振興について」をまとめ、県教委へ提出。

#### ② 教育懇談会(八月二十三日)

県教委と学力向上、復興教育、生徒指導、人事・服務等について意見交換

#### 三 東北連小対策委員会

「要望活動状況」「震災復興等に係る人的配置」等を協議・情報交換

#### 四 活動報告書

平成二十九年行財政対策委員会活動報告書を作成  
(行財政部長 佐藤 卓)

## 研修部

研修部は、学校経営の充実に寄与するため、教育課題に対する調査研究並びに各研究大会等に関する次のような活動を行ってきた。

#### 一 会議の開催

・地区研修担当者会議二回

・調査研究特別委員会二回

・調査研究委員会 十回

#### 二 調査研究活動

① 岩手県小学校長会関係  
「ふるさとを愛し 共に支え合いながら未来を拓く子どもを育てる岩手の学校教育」

学校教育を担う教職員の資質能力と協働意識を高める学校経営の推進」を新しい研究テーマとして、調査研究活動を行った。調査は、学校規模と年齢構成、学校経営上の人材育成の課題、教職員の資質能力、協働意識の向上の四項目についてアンケートを作成して実施した。

本年度は調査結果のまとめを行い、来年度はその調査結果に分析と考察を加え、岩手県小・中学校長研究大会宮古大会で研究発表する予定になっている。

②全国連合小学校長会関係全連小の計画により、抽出校に依頼し、調査を実施した。

### 三 研究大会

①第五十七回東北連合小学校長会研究協議会山形大会（七月六日～七日）が「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」をテーマに開催され、岩手県からは百五十九名が参加し、研修を深めることができた。

「日本の未来は東北から」と題した慶應義塾大学の富田氏の講演では、「学び」や「教育」について深く考える

機会を与えていただいた。また、研究協議においては、「経営ビジョン」分科会で二戸地区校長会が、「学校安全」分科会で盛岡地区校長会がそれぞれ発表を行った。

②第六十九回全国連合小学校長会研究協議会佐賀大会（十月十二日～十三日）に岩手県から三十三名が参加し、研修を深めることができた。

（研修部長 古玉 忠昭）

## 広報・編集部

広報・編集部は、県小学校長会の活動の充実・発展に寄与するため、次のような活動を行ってきた。

### 一 「会報」の発行

- ①第二九九号
- ・ 県小学校長会総会特集
- ・ 地区校長会研究交流
- （一関）
- ・ 東日本大震災からの復興
- （久慈）
- ・ 役員等紹介 他

- ②第三百号
- ・ 東北連小山形大会報告
- ・ 地区校長会研究交流
- （二戸）
- ・ 東日本大震災からの復興
- （岩手・釜石）

- ③第三百一号

- ・ 各部活動報告
- ・ 全連小佐賀大会報告
- ・ 地区校長会研究交流
- （花巻）
- ・ 東日本大震災からの復興
- （和賀）
- ・ 来年度関係事業等 他

### 二 会誌「北奥」五十五号の発行

各地区から四十五名の会員に、随筆・創作、教育実践、小論・提言、特集論文、復興の足跡（写真）の五部門に執筆していただいた。表紙絵や挿絵も協力を得て計画通りに発行した。

### 三 全連小「教育研究シリーズ」

- ①第五十五集を県内全校購読
- ②第五十五集への執筆
- 齊藤義宏校長（石鳥谷小）

### 四 「小学校時報」への執筆

- ①六月号
- 佐々木一人校長（遠野北小）
- ②九月号
- 仁昌寺真一校長（仁王小）
- ③十月号
- 佐々木力也校長（笹間第一小）
- ④十二月号
- 佐々木道雄校長（岩谷堂小）
- ⑤三月号

### 五 全連小ホームページのトップ画面「学校紹介コーナー」

- 加藤孔子校長（見前小）

### 「ナー」への推薦

県内三校を推薦  
六 全連小ホームページ更新にかかる「特色ある学校」の推薦

県内七校を更新し、一校を新規に推薦

### 七 諸会議の開催

広報・編集専門委員会五回、担当理事・地区広報担当者・専門委員の合同会議を二回開催した。

（広報・編集部長 仁昌寺真一）

## 生徒指導部

生徒指導の諸問題にかかる調査並びに児童の健全育成を図るために、各地区小学校長会や県中学校長会と連携しながら、次の活動を行った。

### 一 会議の開催

- ①生徒指導担当理事・専門委員・各地区生徒指導担当者合同会議
- 第一回 四月二十一日（金）
- ・ 年間活動計画の作成
- ・ 各地区状況の情報交換
- 第二回 九月四日（月）
- ・ 調査結果の分析・考察
- ・ 各地区状況の情報交換
- 小・中生徒指導情報交換会
- 九月四日（月）午後
- ・ 小・中調査結果の中間発表

表と協議

- ・ 講話「本県における生徒指導上の諸課題」

- ③生徒指導専門委員会（専門委員五名を盛岡市小学校長会に委嘱）
- ・ 年間五回の専門委員会を開催
- ・ メール送受信による調査方法の検討と実施
- ・ 「震災」に関することの調査内容の見直しと検討
- ・ 調査結果の考察・分析
- ・ 調査結果のまとめ

### 二 調査研究活動

- ①研究主題
- 生徒指導の諸問題にかかる調査
- ②調査方法
- 県内全小学校長を対象にアンケート調査を実施
- ③調査内容
- 調査1 「いじめ」
- 調査2 「不登校」
- 調査3 「少年非行」
- 調査4 「学級経営上の諸問題」
- 調査5 「情報化」
- 調査6 「児童虐待」
- 調査7 「震災」
- ④調査のまとめ
- 調査研究内容を報告書にまとめ、年度末に配付

（生徒指導部長 太田 勝造）

# 地区校長会研究交流

## 未来を切り拓く心豊かで たくましい日本人を育てる 花巻の教育

### 花巻地区校長会

#### 一 はじめに

平成二十九年度は、新学習指導要領実施に向けて、それぞれの学校の教育課程の編成等、様々な準備を開始した年だったと思います。このようなか、花巻市内各校では子どもたち一人一人が自立して、これからの未来を切り拓き、生きていくための基礎・基本を育むことを目標に、学力向上と心の教育の推進を行っています。

本会では小学校十九校、中学校十一校、計三十校の校長から組織されており、夢と誇り、そして志を高く持ち、情熱をもって研修に励んでおります。

**二 本年度の研修の概要**

- ・ 年五回の全体研修会の開催。
- ・ 隔年で行われる視察研修。

今年度は、新学習指導要領を見据えた授業改善やカリ

キュラム・マネジメントに取り組んでいる秋田県横手市立横手明峰中学校、雄物川小学校を訪問し、学校経営について研修しました。

- ・ 課題別研修においては、校長会議終了後、中学校区ごとに分かれての「学力向上」小グループ編成での「人材育成」「生徒指導」「特別支援教育」「保護者対応」「学校経営」の五つのテーマ別研修を年三回行い、各校の実践を交流することができました。
- ・ 学校経営部が企画運営し、毎年十一月に開催される学校経営研修会では、フリーアナウンサーの後藤のりこ氏にご講演いただき、楽しく自分自身の感性磨きができました。

また、同じく十一月には石鳥谷中学校を会場に学校経営について学ぶ、学校経

営研究会も行われました。毎年夏休みには、キャリア研修会も行っており、今年度は花巻市内にある東北日東工業、アイオー精密を訪問し、経営者の方の話を聞き、視察研修を行いました。

#### 三 部会別研修の概要

部会別研修では小学校二部会と中学部会がそれぞれ主題を設定し、研修を行っています。

小学校部会別研修についての概要は次の通りです。

##### (一) 小学校第一部会

領域「危機管理」(学校安全) 主題「地域との連携を図った意図的・計画的な安全・防災の推進と校長の役割」

副題 家庭・地域・関係機関と連携した児童の安全確保の取組を通して

内容 家庭・地域・関係機関と連携・協働を図りながら、児童の安全確保のため「地域との連携を図った意図的・計画的な安全・防災の推進と校長の役割」について実践を通して明らかにしている。

特に研究の二年次にあたる本年度は、次の四つの視点について見直したり、新たに実践を行い研究を深めた。

ア 専門的知識を持つ人材や

地域の関係機関と連携した取組による、教職員の危機意識と指導技術の向上

イ 学校と家庭、地域が連携

を深める訓練等の実践と連携の基礎づくり

ウ 日常的な家庭、地域、関係機関との連携の継続

エ 保護者と地域との連携の具体

・ この研究は平成三十年年度岩手県小・中学校長研究大会宮古大会で発表する予定です。

(二) 小学校第二部会

領域「教育課程」(知性・創造性) 主題「知性と創造性を育む教育課程と校長の在り方」

副題 カリキュラム・マネジメントの手法を用いた教育課程の編成を通して

内容 「社会に開かれた教育課程」の観点に沿って、児童が、将来を見据え、生きる力を磨き、互いに高めあうことができる質の高い教育課程を編成・実施し、また教職員の意欲を引き出しながら評価・改善を促していくための校長としての役割について実践を通して明らかにすることとし

た。

本年度は、研究の一年次であり、自校の実践をカリキュラム・マネジメント・モデルを活用した分析シートを用い、整理・分析し「現状と課題」「教育課程の編成の方向性」を考察し、校長としての関わり方をまとめた。次年度以降はこの成果の共有と課題究明、そして課題解決に向けた校長の関わり方を検討する計画である。

・ この研究は平成三十年年度東北連合小学校長会青森大会および、岩手県小・中学校長研究大会宮古大会で発表する予定です。

#### 四 おわりに

本会では会員一人一人の知恵と持ち味を結集させ、また会員相互の親睦と結束を図りながら和やかな雰囲気のもと、初等教育のさらなる充実のために研修に努めております。

今後とも、他地区の校長会の皆さまからたくさんのご意見・ご感想をいただきながら、さらなる研修・実践を深めて参りたいと思っております。

(花巻市立笹間第二小学校 校長 大越 千晶)

復興支援と復興教育

和賀地区校長会

和賀地区校長会では、東日本大震災以降、釜石地区の学校への支援を行ってきた。

震災直後は、物資不足ということもあり、募金活動による支援金の贈呈、不足物資等の贈呈、訪問しての交流を主な内容として、相手校と相談しながら進めてきた。しかし、訪問交流等の支援は、相手校への負担や移動手段等の課題もあり、次第に相談の上、実施しないようになってきた。

しかし、現在もなお、復興をめざし努力している姿を忘れることなく、今後も一緒に復興をめざすという思いを持ち続け、ほしいという願いから、各校で復興支援・復興教育を行っている。

地区では、それぞれの学校が願いを込めて支援・教育を行うこととしているので、ここでは、いくつかの学校の取組を紹介することとした。

更木小学校では、学校田で作った米を支援校に送ってきた。福島は被災した方の呼びかけに応じ、福島は餅米を送る活動が始まり、現在では、福島の児童との修学旅行での

交流も行っている。(詳しくは、「北奥」を参照)

鬼柳小学校では、募金活動や被災地視察、キャリア教育を通して復興関連学習を行い、復興への思いを大切にしながら教育を実践してきた。また、二十七年には、毎月十一日を「復興教育推進日」とし、全校放送で震災関連の読み聞かせを実施した。更に、二十八年からは、学習発表会に震災関連の朗読劇も取り入れている。

湯田小学校・沢内小学校では、作品の交流、児童相互が訪問しての交流会、ウェブでの長縄跳びの交流、児童の寄せ書きの交流等を実施してきた。交流については、相談の上、二十八年度を最後に実施していない。湯田小学校の学校田で収穫したお米を送る活動は今年も続いている。

このように、各校が相手校や児童の思いを大切にしながら、現在も、復興に向けての支援・教育を実践しているところである。近年は、募金や収穫した物を送る活動、児童同士の交流から、視察・見学して「理解する活動」、毎月十一日を思いやりの日などと決めて「復興への思いを忘

れない活動」等に変わってきている。

最後に、「訪問・交流・被災地で拾ったどんぐりの実からどんぐりの木を育てる」という実践をしている笠松小学校の例を紹介して、和賀地区の復興教育の実践の紹介をしたい。

(北上市立黒沢尻西小学校 校長 三浦 由和)

**2011.3.11**  
**東日本大震災からの復興**  
**今日から明日へ 一歩ずつ**  
**和賀地区**

笠松小学校の実践

平成二十五年、五・六年生と教職員が大船渡市越喜来に向かい、「笠松小学校復興教育プロジェクト・被災地三陸町でのドングリ拾い、お話を聞く会」が、きたかみ巨木の会と大船渡の若萌の会のお力添えで実現できました。

そして、その様子を全校児童に報告し、「笠松どんぐり

プロジェクト」が始まりました。吉浜の大窪山公園内で拾ってきた百個ほどのどんぐりのお話をしたり、月命日の十一日に「どんぐり朝会」を開いたりすることによって、大きな被害を受け辛い思いをした人が大勢いたこと、そして復興のためにがんばっている人たちがたくさんいることを忘れないようにしてきました。

平成二十七年には、プロジェクトチームを立ち上げ、教師主導で始まった活動は、児童の自主的な取組に変わりました。また、どんぐりの名前を募集し、九十六通の中から笠松の「かさ」とどんぐりの「どん」を合わせた「かさどん」に決定しました。この「どんぐりプロジェクト」の活動が高く評価され、「小さな親切」運動県本部から「小さな親切」実行賞も受けました。

そして、二十八年六月、大船渡の三陸町の吉浜小学校に「かさどん」を一本寄贈し、三本を越喜来の被災地に大きく育つように願いを込めて、一つ一つ丁寧に植えました。植樹した被災跡地は今後公園になる予定で、子どもたち



ちを見守る大きな木に育つように地域の皆さんが育てて下さるそうです。

そして、今年度は、残った五本の「かさどん」を校舎の裏の庭に全校で植樹をしました。

今の一年生には、震災の年に生まれたお子さんもいます。これから、震災の経験も記憶もない児童が増える中、震災があつたということ、そして、今も復興に向けて頑張っている人がいることを忘れないように、「かさどん」を通して子どもたちに伝えていきたいと思えます。毎日、廊下を歩きながら見る「かさどん」は、笠松小学校の復興教育のシンボルとなっています。

(北上市立笠松小学校 校長 小野寺香世)

# 第六十九回 全国連合小学校長会研究協議会 佐賀大会成功裏に終わる

## 次期開催地は北海道

第六十九回全国連合小学校長会研究協議会佐賀大会が十月十二日(木)、十三日(金)の二日間、佐賀市文化会館を主会場として開催された。

開催地の佐賀県は、明治維新の一翼を担った「佐賀の七賢人」の一人、十代藩主 鍋島直正を輩出した地である。直正は大隈重信らの賢人を育て、「先憂後楽」を自ら体し、人々の幸福を最優先し、時代の流れを的確につかみ、人を育て、組織力を高めていった人物である。

大会主題は、「新たな知を



大会 2 日目のシンポジウム

拓き人間性豊かな社会を築く日本人の育成を目指す小学校教育の推進」で、同主題を掲げた研究大会の四年目。副主題は「志を胸に 高きに和して 未来を創る 子どもを育てる 学校経営の推進」であった。十三の分科会に分かれて、「校長の役割と指導性」を踏まえた活発な協議が行われた他、文部科学省講話、シンポジウム等が行われた。

岩手県からは、石川正明会長を含め、総勢三十三名が参加した。今大会において本県からの発表はなかったが、各分科会において積極的に発言し、全国の参加者との交流を図った。

### 開会式での 種村明頼会長挨拶

開会式の挨拶で、種村明頼全連小会長は、「中央教育審議会答申及び新学習指導要領を受け止め、学校教育のより一層の充実・発展をさせるた

めの校長の役割は重大である。予測困難な時代を生き抜く子どもたちに、確かな力を培うために、三重大会、埼玉大会、山口大会、高知大会の成果を生かし、より一層質の高い教育活動を展開することができるよう、『志を胸に高きに和して 未来を創る 子どもを育てる 学校経営の推進』の副題のもと、様々な視点からご発言いただき、この研究協議会を深めていきたい。」と力強く述べた。

### 文部科学省講話

文部科学省大臣官房審議官 白間竜一郎氏から「新学習指導要領・外国語教育改革・教員の働き方改革」の取組の動向についてお話をいただいた。

○学習指導要領改訂の方向性として「何ができるようにするか」のためには、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」三つのトライアングルを一体となつて取り組んでいくことが大切

○外国語教育は「何ができるようにするか」という観点から、国際基準を参考に、小・中・高等学校を通じた領域（「聞くこと」「読むこと」「話すこ

と（やり取り・発表）」「書くこと」別の目標を設定

○三・四年（活動型） ↓ 「聞くこと」「話すこと（やり取り・発表）」を中心に年間三十五単位時間（週一コマ程度）

五・六年（教科型） ↓ 段階的に「読むこと」「書くこと」を加え年間七十単位時間（週二コマ程度）

○教員の働き方改革について「学校が担うべき業務の在り方」「教職員及び専門スタッフが担うべき業務の在り方及び役割分担」「教員が子ども

の指導に使命感をもってより専念できる学校の組織運営体制の在り方及び勤務の在り方」の三つの視点に立って仕分け作業

### 分科会グループ協議

十三分科会場に分かれ、参加型分科会運営が行われた。今年度も協議に先立ち、グループ毎の名刺交換による自己紹介が行われ、和やかな雰囲気

果たすべき役割・指導性に着目した研究にしたいこと等多くの工夫を行っていた。明日からの実践に生かすことができる実り多い分科会グループ協議となった。

### シンポジウム

『未来を創る 子どもたちに』シンポジウム

陶芸家 十五代

酒井田柿右衛門氏

日本画家 中島 潔氏

NHKアナウンサー

内山俊哉氏

コーディネーター

全連小調査研究部長

針谷 玲子氏

シンポジウムは、「あたたかさ」「つよさ」「しなやかさ」をキーワードとして進められた。佐賀県ゆかりの三名のシンポジストから、郷土や家族への愛着や誇り（あたたかさ）をもちながら、理想とする職業や作品の創造に向けて、志を抱き困難に立ち向かう行動力（つよさ）や、新しい考えや異なる価値観を受け入れる対応力（しなやかさ）を身に付けてほしいという、未来を創る子どもたち、そして私たち校長への心温まるメッセージをいただいた。

### 第58回東北連合小学校長会研究協議会青森大会

- 1 大会主題 「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」
- 2 副主題 「郷土に誇りを持ち、未来を主体的に拓くたくましい子どもの育成を目指す学校経営と校長の在り方」
- 3 期 日 平成30年7月5日(木)～6日(金)
- 4 会 場 第1日目 全体会：八戸市公会堂  
第2日目 分科会：八戸プラザホテル、八戸パークホテル

#### 5 大会日程

【1日目】7月5日(木)

12:00	13:00	13:50	14:20	15:50	16:10	17:00
受付	開会行事 全体会	休憩	シンポジウム	閉会 行事	分科会 打合せ	

【2日目】7月6日(金)

8:30	9:00	12:00
受付	分科会(研究協議会)	

### 第70回全国連合小学校長会研究協議会北海道大会

- 1 研究主題 「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」
- 2 副主題 「ふるさとの地から世界を見つめ  
新しい社会の形成に向けて挑戦する子どもを育てる学校経営の推進」
- 3 期 日 平成30年10月4日(木)～5日(金)
- 4 開催地 全体会：函館市函館アリーナ  
分科会：函館アリーナ、函館市内ホテル

#### 5 大会日程

【1日目】10月4日(木)

8:30	9:00	9:50	10:00	10:40	10:50	11:30	13:00	16:30
受付	開会式	休憩	文部科学省講話	休憩	全体会	昼食・移動	分科会	

【2日目】10月5日(金)

8:30	9:00	9:20	9:30	11:40	12:00
受付	全体会	休憩	シンポジウム	閉会式	

### 第56回岩手県小・中学校長研究大会宮古大会

- 1 研究主題 「主体的に生き、ふるさとの未来を担う子どもを育てる岩手の教育」
- 2 副主題 「ふるさとを愛し、共に支え合いながら未来を拓く子どもを育てる学校経営の推進」
- 3 期 日 平成30年10月12日(金)
- 4 開催地 全体会：宮古市民文化会館  
分科会場：宮古市民文化会館、河南中学校、磯鶏公民館

#### 5 大会日程

9:45	10:15	10:50	11:50	13:15	15:35	15:45
受付	開会行事	全体研究発表 (小・中研究発表)	昼食 (移動)	分科会研究協議 (小・中別分科会)	閉会行事 (分科会毎)	

### 平成30年度第56回岩手県小学校長会定期総会

- 1 期 日 平成30年4月20日(金)
- 2 会 場 盛岡市都南文化会館(キャラホール)
- 3 日 程

9:30	10:00	12:00	13:00	14:00	14:15	14:45	15:30
受 付	総会1 開会 感謝状贈呈 祝辞 行政説明	昼食 12:05～ ・役員選考委員会 ・大会宣言起草委 員会	総会2 議長選出 報告・議事 新役員挨拶 閉会	移 動	第1回理事・ 評議員合同会議 (顔合わせ、 確認事項等)	各部担当理事・ 地区事務局長・ 地区担当者・ 専門委員合同 会議	

事務局日誌抄

- 9月15日 第3回理事会(盛岡市勤労福祉会館)
- 15日 第2回東日本大震災対策特別委員会(盛岡市勤労福祉会館)
- 15日 第56回岩手県小中学校長研究大会宮古大会打ち合わせ会(サンセール盛岡)
- 23日 岩手県子ども会育成研究大会(ふれあいランド岩手) 太田部長出席
- 25日 第2回公立学校共済組合岩手支部保健事業検討会(サンセール盛岡) 加藤副会長出席
- 28日 全連小三地区対策・調研担当者連絡協議会(東京・KKRホテル東京) 佐藤部長、太田部長出席
- 29日 全連小健全育成委員会(東京・全連小事務局) 太田部長出席
- 10月4日 第4回生徒指導委員会(盛岡市勤労福祉会館)
- 6日 第48回岩手県公立小中学校事務研究大会(いわて県民情報交流センター) 石川会長出席
- 6日 第47回岩手県公立小中学校事務研究大会レセプション(サンセール盛岡) 石川会長出席
- 7日 第67回夏休み良書推薦運動読書感想文コンクール表彰式(サンセール盛岡) 外山部長出席
- 11日 全連小第227回理事会(佐賀市・グランデはがくれ) 石川会長、外山部長出席
- 12~13日 第69回全国連合小学校長会研究協議会佐賀大会(佐賀市文化会館他) 参加者33名
- 20日 東北連小第2回対策委員会(山形・大手門パルズ) 佐藤部長出席
- 20日 東北連小第2回教育課程委員会(山形・大手門パルズ) 古玉部長出席
- 20日 全連小現職教育委員会(東京・全連小事務局) 仁昌寺部長出席
- 23日 全連小健全育成委員会(東京・全連小事務局) 太田部長出席
- 24日 (一財)岩手県学校安全互助会第2回理事会(岩手県公会堂) 石川会長出席
- 31日 岩手県教員等育成協議会第3回作業部会(県庁) 佐藤部長出席
- 11月1日 「いわて教育の日」のつどい(岩手県民会館)
- 1日 第70回岩手県社会福祉大会(岩手県民会館) 田口校長(盛岡市立浪民小) 出席
- 2日 全連小現職教育委員会(東京・全連小事務局) 仁昌寺部長出席
- 2日 正しい交通ルールを守る運動県民大会(盛岡グランドホテル) 佐々木校長(盛岡市立太田東小) 出席
- 2日 岩手県道徳教育研究大会気仙大会(大船渡小学校) 平山校長(大船渡市立盛小) 出席
- 6日 第7回常任理事会(校長会事務局)
- 7日 「地域と共にある学校づくり」推進フォーラム(いわて県民情報交流センター) 石川会長出席
- 8日 第1回学事職員録編集会議(岩手教育会館) 仁昌寺部長出席
- 9~10日 東北地区学校図書館研究大会岩手大会(いわて県民情報交流センター他) 石川会長出席
- 9日 東北地区学校図書館研究大会岩手大会レセプション(メトロポリタン盛岡) 石川会長出席
- 13日 第4回理事会・第2回評議員会合同会議(盛岡市勤労福祉会館)
- 13日 第3回東日本大震災対策特別委員会(盛岡市勤労福祉会館)
- 16日 第2回岩手県いじめ問題対策連絡協議会(岩手県庁) 佐藤部長出席
- 16日 第16回岩手県中学校総合文化祭(岩手県民会館) 石川会長出席
- 17日 岩手県教職員表彰式(岩手県民会館) 石川会長出席
- 21日 第7回調査研究委員会(盛岡市勤労福祉会館)
- 22日 第3回広報・編集委員会(盛岡市勤労福祉会館)
- 22日 第41回岩手県養護教諭研究大会(盛岡市民文化ホール) 石川会長出席
- 24日 第4回行財政対策委員会(盛岡市勤労福祉会館)
- 26日 (一社)岩手県PTA連合会年次表彰式(ホテルメトロポリタン盛岡) 加藤副会長出席
- 27日 ラグビーワールドカップ釜石開催実行委員会第2回ボランティア・おもてなし専門部会(岩手大学三陸水産研究センター) 佐藤校長(釜石市立双葉小) 出席
- 29日 第2回岩手大学教育学部・教職大学院地域連携協議会(岩手大学) 石川会長出席
- 29日 岩手県立療育センター及び盛岡となん支援学校落成式(療育センター) 佐藤部長出席
- 30日 岩手県ユニセフ協会第2回理事会(プラザおでつて) 太田部長出席
- 12月5日 第3回行財政部担当理事・地区行財政担当者・対策委員会合同会議(盛岡市勤労福祉会館)
- 6日 第8回調査研究委員会(盛岡市勤労福祉会館)
- 11日 第9回常任理事会(校長会事務局)
- 13日 岩手県アレルギー疾患対応委員会(盛岡地区合同庁舎) 加藤副会長出席
- 13日 日本教育会東北ブロック連絡協議会(ホテルメトロポリタン盛岡) 石川会長出席
- 14日 第4回広報・編集委員会(盛岡市勤労福祉会館)
- 14日 岩手県教職員互助会理事会(サンセール盛岡) 加藤副会長出席
- 18日 (公財)日本教育公務員弘済会岩手支部幹事会・運営委員会(ホテルルイズ) 石川会長・加藤副会長出席
- 18日 (公財)日本教育公務員弘済会岩手支部合同情報交流懇談会(ホテルルイズ) 石川会長・加藤副会長出席
- 1月12日 社会を明るくする運動作文コンテスト表彰式(プラザおでつて) 太田部長出席
- 16日 ラグビーワールドカップ釜石開催実行委員会第3回ボランティア・おもてなし専門部会(釜石市民ホール) 佐藤校長(釜石市立双葉小) 出席
- 22日 第2回広報・編集部担当理事・地区担当者・専門委員会合同会議(盛岡市勤労福祉会館)
- 23日 初任者研修実施協議会(岩手県庁) 古玉部長出席
- 24日 学校保健総合支援事業第2回協議会(岩手県民会館) 太田部長出席
- 25~26日 第51回ユニセフ研修会(東京・日本ユニセフ協会) 佐藤部長出席
- 26日 第2回総務部担当理事・地区事務局長合同会議(盛岡市勤労福祉会館)
- 29日 第2回研修部担当理事・地区研修担当者 第2回調査研究特別委員会・第9回調査研究委員会合同会議(盛岡市勤労福祉会館)
- 30日 第9回常任理事会(校長会事務局)
- 30日 岩手県学校生活協同組合創立70周年記念祝賀会新年交賀会(ホテルメトロポリタンNEW WING) 石川会長出席
- 31日 第2回岩手県発達障がい者支援体制整備検討委員会(岩手県総合福祉センター) 佐藤部長出席
- 2月1日 全連小合同委員会 仁昌寺部長、太田部長出席
- 2日 東北連小第3回理事会・研修会(山形市・大手門パルズ) 石川会長、外山部長出席
- 7日 第5回行財政対策委員会(盛岡市勤労福祉会館)
- 7日 第10回調査研究委員会(盛岡市勤労福祉会館)
- 7日 第5回広報・編集委員会(盛岡市勤労福祉会館)
- 7日 第5回生徒指導委員会(盛岡市勤労福祉会館)
- 8~9日 岩手県教育研究発表会(岩手県教育センター他) 石川会長、加藤副会長出席
- 13日 第2回公立学校共済組合岩手支部運営審議会(サンセール盛岡) 加藤副会長出席
- 15~16日 全連小第228回理事会(東京・KKRホテル東京) 石川会長、外山部長出席
- 21日 第5回理事会・第3回評議員会合同会議(盛岡市勤労福祉会館)
- 21日 第4回東日本大震災対策特別委員会(盛岡市勤労福祉会館)
- 27日 県立総合教育センター運営協議会(県立総合教育センター) 加藤副会長出席
- 3月1日 岩手県小学校長会会計監査(盛岡市勤労福祉会館)
- 3日 第68回冬休み良書推薦運動読書感想文コンクール表彰式(サンセール盛岡)
- 3日 (一社)岩手県PTA連合会臨時社員総会(サンセール盛岡) 加藤副会長出席
- 5日 第10回常任理事会(校長会事務局)
- 22日 第11回常任理事会(校長会事務局)

編集後記

平成二十九年度もまもなく終わろうとしています。

この一年間、岩手県小学校長の活動方針のもと各専門部が計画通り事業を展開し、大きな成果をあげることができました。

これも会員の皆様のご理解とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

東日本大震災津波から間もなく七年目を迎えます。「いわての復興教育」は順調に成果をあげています。将来の岩手県、日本、世界を支える人づくりのため、新学習指導要領の移行措置の中で、どのような指導を展開するのか、各学校では創意ある教育課程の編成に取り組んでいることと

思います。また、いじめや不登校問題、保護者のクレーム、SNSに

関わるトラブルなども増加傾向にあります。

さらに教員の働き方改革が社会問題にもなっています。

このように教育を取り巻く状況が厳しくなる中、会員の英知と情熱を結集して、課題解決に主体的に取り組み、家庭や地域からの信頼と期待に応えていくことがより一層必要になると思います。

(担当 作山文康)